

Y2 海域（八代海北部）の問題点と原因・要因の考察

【魚介類養殖業全般】

球磨川河口域の干潟を中心としてアサリの漁獲が認められており、1985年には2,500トンに達していた。2008年以降に漁獲量が減少している（図1）。本海域は河口干潟に属するため、大雨時の淡水流入による突発的なへい死、台風等による逸散が多く、豊凶の差が激しい海域である。近年はホトトギスガイの繁茂などが指摘されている。

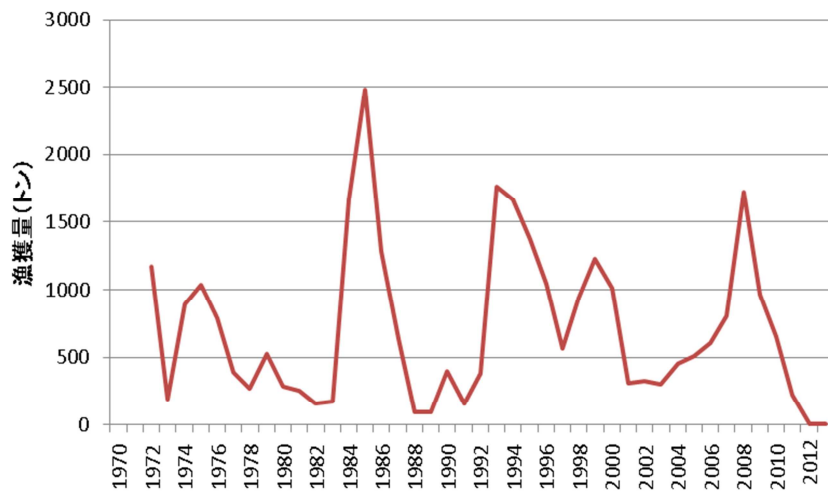


図1 八代海におけるアサリ漁獲量の推移（1970～2013年農林水産統計より）